

日本の息吹

兵庫県版

兵 庫 版
 第一九三号平成二九年（皇紀二六七七年）二月二日発行
 日本会議兵庫県本部事務局
 六五〇・〇〇一五 神戸市中央区多聞通三・一・一
 兵庫県神社庁内（〇七八・三四一・一一四五）
 HP <https://www.nipponkaigihyogo.org/>
 メール nipponkaigihyogo@gmail.com

第二十三回

全国戦歿学徒

追悼祭齋行

全国戦歿学徒を

追悼する會

列島を横断し甚大な被害
をもたらした超大型で非常
に強い台風二十一号の影響



により、当日は生憎の雨天
 となって出陣学徒壮行會の
 ような秋雨が降りしきる
 中、戦歿学徒記念「若人の
 廣場」（南あわじ市阿万大
 見山）に於いて全国戦歿學
 徒追悼祭が齋行された。大
 東亞戦争で戦地又は軍需工

「若人の廣場」は、荒廢を
 極め大変憂慮される状況が
 長く続いたが、南あわじ市
 並びに兵庫縣を始め復興を
 願ふ方々のご努力により、
 平成二十七年三月十五日に
 都市公園として再開され
 た。

場等に動員され
 亡くなられた、
 二十萬人余の學
 徒の御靈を慰靈
 するため建立さ
 れた同廣場に
 て、終戦五十年
 を迎へた平成七
 年から齋行され
 今年で二十三回
 目となる。昭和
 十八年十月二十
 一日に東京・明
 治神宮外苑陸上
 競技場に出陣學
 徒壮行會が開催
 された故事に因
 んで、毎年十月
 二十一日に開催
 してゐる。
 諸般の事情によ
 り平成七年より
 閉鎖されてゐた



《 11月22日以降の日本会議兵庫関連団体の主な催物 》

- 11月25日(土)14時 三島由紀夫・森田必勝両烈士追悼祭(13時30分開場) 問合先 07055082577
 (会場:長田神社 2,000円 先着50名会員限定 要予約(申込10月号ご参照) 記念講演;講師百地 章先生)
- 12月 9日(土)15時 日本会議兵庫神戸支部設立総会(記念講演;講師 西岡 力先生)別紙申込
 (会場:楠公会館 湊川神社 参加費 事前1,500円(当日2,000円) 学生割引有 懇親会5,000円)
- 12月17日(日)13時半~15時 憲法改正街頭活動 神戸大丸前 問合先 07055082577
- 12月23日(土) 8時半~日本会議兵庫中・西播磨支部 姫路護國神社清掃奉仕活動
- 1月8日(月・祝)11時~12時半 憲法街頭活動(成人式) グリーンアリーナ神戸問合先 07055082577
- 2月11日(日)建国記念の日を祝う会(神戸, 姫路)
 (神戸会場)13:30兵庫県民会館パルテホール(開場12:45)[構成;講演会・式典・パレード]
 講演は、勝岡寛次氏(明星大学戦後教育史研究センター)「建国精神と明治維新150年」(仮)
 (姫路会場) (記念講演;講師未定) 未定部分は、決定次第最新号でお知らせいたします。



追悼祭では近畿各地より「わがやまと参加した青年神職が祭典を奉のくに」「海仕し、本名孝至幹事長と兵庫ゆかば」奉唱縣知事（代理）が追悼文を奉など、教義宗讀し、海上自衛隊徳島教育航派を超へ多く空群徳島航空基地喇叭隊ののご來賓の「悲しみの譜」「國の鎮め」の方々を迎へ「水漬く屍」三曲が吹奏されて、總勢一八た。次いで山口縣・朝田神社○名もの參列宮成眞澄權禰宜と香川トモコにより嚴肅裡さんによる、香淳皇后より賜に齋了されはった御歌による「みたま慰た。

齋了後、
毎年祭典をご
奉仕戴く神道
青年會を代表



して神道青年全
國協議會の佐野
巖會長と、兵庫
縣姫路護國神社
宮司であり兵庫
縣神社廳長の泉
和慶氏のご挨拶
があった。

式典の後、ホ
テルニューアワ
ジ・プラザ淡路
島に會場を移し
て總會を開催。

一三〇名余りの参加者のも
と、明年の第二十四回追悼祭
を縁故の日である平成三十年
十月二十一日（日）に齋行す
ることなどを採択し、日本會
議三木英一會長の發声により
参加者一同で學徒の御靈に献
盃を行った。

台風の接近にて生憎の天候
となったが、特にキリストの
幕屋の方々は今年が土曜日
の開催日となり、早くから學
徒と年齢を同じくする學生の

參列を呼びかけていたいただいた
こともあり、中高生の姿も
あつて世代を超えて多くの有
志が相集つた。終戦七十二年
を迎へて、「行く末の礎とな
らん」と散華された學徒の御
靈を追悼し、緊迫の度を増す
東亜細亜情勢の中で我國の行
く先を案じ、さらなる平和を
希求することを誓ひ盃をあげ
た。今後も追悼の儀式を繼續
することが今に生かし生かさ
れる者たちに与へられた責務
であり、永遠の祈りの場とす
ることを御靈前にお誓ひし散
會した。

憲法街頭活動の報告

去る十一月五日、月例の憲
法街頭活動を行った。

参加者は三名と少なかった
が、三人集まれば何とか、繼
続は力なりで、「ありがと
う、自衛隊」「半島危機」
「憲法改正」「自衛隊明記」
等を訴えた。奇しくもトラ
ンプ大統領の訪日であつた当
日、これから起ころうとする
半島情勢は、どのような結末
になろうとも、背後の中国の
影響が大となることは避けれ
ないという、聖徳太子の時代
や白村江の戦い以来の同様の
課題に備えるためには、日米
同盟を確固として、日夜の
守りに献身される自衛隊の



方々への感謝を表す空氣醸成
と憲法への自衛隊明記の一步
を踏み出す憲法改正がまず必
須であることを強く訴え、あ
りがとう自衛隊キャンペーン
チラシおよび神戸支部設立記
念講演会（西岡力氏、十二月
九日）チラシを各九十枚配
布、十筆の憲法改正賛同署名
を得た。情宣中、激励の声を
かけてくれる若いアベックも
いたり、心強く思つた。

次回は、十二月十七日日曜
日午後一時半から同場所、
さらに明年一月八日には、恒
例の神戸市成人式参加の若者
を対象にチラシ配布をグリー
ンアリーナ（神戸総合運動公
園）で行う予定。会員諸氏に
は是非ご協力ご参加を呼び掛
けたく付記させて頂いた。お
問合せは表頁の連絡先まで頂
ければ幸いである。（市橋）